

P & Gの東日本大震災への支援の取り組みについて (第3報/参考資料)

P & Gでは、「現在、そして未来の人々の暮らしをよりよいものにする」という企業目的のもと、日々の生活に深くかかわる製品・サービスを提供する企業として、社会・コミュニティへの支援を、当社に課せられた社会的責任と考えています。

東日本大震災に関しては、17年前の1995年1月に起こった阪神淡路大震災で被災した企業として、また、多くの支援をいただいた企業として、その経験と感謝から、東日本大震災の発生当初から、現地のニーズ・状況を踏まえ、役立つ支援を心がけ、さまざまな支援を展開して来ました。震災発生から1年間の当社の取り組みをご報告します。

===== 支援概要 =====

1. 緊急支援物資の提供
2. 支援金の提供/支援団体との協働
3. 社員によるボランティア/支援活動
4. ブランド・事業を通じた取組み
5. 現在・今後の支援活動について

1. 緊急支援物資の提供

P & Gでは、震災の3日後の2011年3月14日(月)より、緊急支援物資の提供を開始しました。これまでに、紙おむつ、生理用ナプキンそれぞれ約130万枚をはじめ、ヘアケア製品、洗剤、かみそりなど、当社が製造・販売する日々の生活を支えるさまざまな日用品を、時間の経過とともに変わる被災地のニーズ、現地の受け入れ体制に応じて、必要な物資を必要な人に確実に届くように、行政やNPOなどとも連携し、物資の提供に努めてまいりました。

*これまでの主な支援物資 (市価換算額：約1億3,000万円)

紙おむつ「パンパース」(134万枚)、子供用おしり拭き(1万5,000パック)、生理用品「ウイスペア」(132万枚)、シャンプー(2万本)、衣料用洗剤「ボールド」(4,400本)、かみそり「ジレット」(1万本) 被災者用仮設住宅向け生活用品詰め合わせ(6,700セット) など。

2. 支援金の提供/支援団体との協働

支援金総額： 1億1,700万円 (社員とのマッチング寄付を含む)

主な寄付団体： 「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」、「ワールドビジョン・ジャパン」「あしなが育英会」など8団体 (*これまでに1億800万円分を寄付済)

3. 社員によるボランティア/支援活動

マッチング寄付

国内外のP & Gグループの社員から、被災地への支援金を募り、会社がその額に応じ寄付金を加算する、マッチング寄付を行いました。マッチング寄付により約4,200万円の寄付があつまり、被災地支援に役立てられています。

社員ボランティア活動の促進： これまでの参加者(延べ800人以上)

会社として被災地での瓦礫撤去に社員ボランティアを募り派遣したのをはじめ(65人)、これまでに被災地向けの支援物資の発送作業、被災地支援イベントへの社員の積極的な参加を図ってまいりました。また、社員ボランティア主催の東北物産購入を促すイベントやPRなど、社員ボランティア主導でも活動を行っています。この一環として、現在、有志によるプロジェクトチームが、今後の寄付やボランティア支援プログラムの立案や、社員のボランティア活動の啓発・サポートを行っています。

4. ブランド・事業を通じた取組み

通常のビジネスを通じた継続的な支援、また、消費者が購買などを通じて参加できる支援の枠組みとして、P & Gのブランド、製品など、当社事業やブランドの特性を生かした支援活動を行いました。

<ブランドと関連した支援活動>

「アリエール あなたにエールを。プロジェクト」

お洗濯が困難な避難所の被災者向け支援活動。これまでに2万1,870点の衣類の洗濯支援。

「パンパース うんと眠ろ。うんと遊ぼ。プロジェクト」

宮城県南三陸町で、これまでに1,624人の乳幼児、ならびにその保護者に、ゆっくりお昼寝し、しっかり遊べる育児環境を提供。

その他のブランドと関連して行った事業活動 一例

「パンテーン きれいのカプロジェクト」(NPOと協働して女性がん患者に医療用ウィッグを提供)

「SK-II 看護師 支援活動 “Love Your Smile”」

「ジレット提供 岡崎慎司選手、阿部勇樹選手によるサッカー教室」

<得意先との共同による店頭支援キャンペーン(東日本エールプロジェクト)>

東北に元気を！キャンペーン

P & Gの製品を購入いただいたお客様の応募により、東北の観光や名産品を抽選で提供し、その応募に応じて、被災地への支援活動に寄付するお客様参加型店頭キャンペーン。

JOC主催「オリンピックデー・フェスタ」への支援

JOC(日本オリンピック委員会)が行うスポーツイベントを通じた被災地支援プログラム。得意先との共同キャンペーンにより、売上の一部がこの支援プログラムに提供。

5. 現在・今後の支援への取組み

(東日本エールプロジェクト) 東北に元気を！キャンペーン の継続実施

現在、対象製品購入により東北の名産が抽選で当たる、「被災地のビジネスにつながるキャンペーン」を展開。また、一部得意先においては、応募一口あたり50円を、支援団体を通じて、東日本大震災の被災地の子供たちの支援のために寄付するプログラムとして展開しています。(※キャンペーン実施の有無、内容、時期は得意先との協議により個別に決定)

社内メモリアルイベント

東日本大震災から約一年を迎えるにあたり、当社の被災地支援活動への理解、社員の継続的な支援活動参加を呼びかける社内イベント「東北震災メモリアルデイ」を2012年3月8日に開催しました。神戸本社と東京オフィス、仙台オフィス、国内の全3工場をネットワークし、これまでの当社の震災支援活動を振り返るとともに、支援団体や現地被災企業による現地の現状の説明、会社が検討している今後の被災地支援プログラムの紹介など。

社員の支援への取組み、ボランティア活動

社員ボランティア主導による、東北名産品の物産展やチャリティーイベントなど、継続的なボランティア活動実施のサポート。息の長い支援活動の枠組みを構築しています。また、昨年5-6月の活動に引き続き、社員ボランティアを直接現地に派遣する支援プロジェクトも予定しています。

*P & Gグループの支援活動の詳細は、当社サイトを参照ください。(<http://jp.pg.com/shien/>)